

(1) ジェイミー・L・リー ロサンゼルス港湾委員会会長等との政策協議及びロサンゼルス港トラパック社自動化コンテナターミナルの視察

日時：1月14日（月）

場所：カリフォルニア州ロサンゼルス

概要：

港湾の生産性向上のためのIoTや自動化技術等を活用した施策を推進するため、米国最大の港湾であり北米西海岸初の自動化を実現したロサンゼルス港の自動化導入の効果や自動化導入時の労使交渉の状況等について同港幹部に聴取を行うとともに、意見交換を行いました。また、トラパックターミナルにおいて、自動荷役機械による荷役作業やクレーンの遠隔操作の実際の様子について視察を行いました。



ロサンゼルス港湾委員会との意見交換後の
記念撮影



ロサンゼルス港トラパックターミナルの視察

(2) スコット・スミス バレー・メトロ社 CEO との政策協議及びジョン・ハリコウスキー アリゾナ州交通局局長との政策協議

日時：1月15日（火）

場所：アリゾナ州フェニックス

概要：

アメリカにおける自動運転の最新の動向を調査するため、バレー・メトロ社（フェニックス地域等における公共交通事業者）との間で、ウェイモ社（グーグル系の自動運転開発企業）との連携事業（従業員を対象とするラストマイル自動運転）の状況等について意見交換を行いました。また、アリゾナ州交通局との間で、アリゾナ州における自動運転車の取組状況等について意見交換を行いました。



会談の様子
(右:パレー・メトロ社側/左:日本政府側)



会談の様子
(右:日本政府側/左:アリゾナ交通局側)

(3) マイケル・ベイリー ロイヤルカリビアン社社長、ギオラ・イスラエル カーニバル・コーポレーション社上級副社長へのクルーズトップセールス及びマイアミ港クルーズターミナルの視察

日時：1月17日（木）

場所：フロリダ州マイアミ

概要：

マイアミに本社を置く世界最大級のクルーズ船社であるロイヤルカリビアン社、カーニバル・コーポレーション社に対し、日本におけるクルーズ船受入環境整備について説明し、我が国への寄港増に向けたトップセールスを行いました。

塚田副大臣からは、マイケル・ベイリー ロイヤルカリビアン社社長との会談において、「官民連携による国際クルーズ拠点形成する港湾」の第3次募集に同社が那覇港管理組合及びMSCクルーズ社と連名で提出している那覇港での提案書に関して、2月に予定されているプレゼンテーションへの期待を表明しました。

また、ギオラ・イスラエル カーニバル・コーポレーション社上級副社長との会談においては、同社がターミナルビルの建設を予定している平良港の整備に係る地元との連携調整等について、より一層の連携強化を確認しました。

併せて2社のクルーズターミナルの視察も行いました。



ロイヤルカリビアン社との意見交換にて
(右:塚田副大臣/左:マイケル・ベイリー社長)



カーニバル社内にて設備の説明を受ける様子